

平成28年12月11日（日）、関西医療学園専門学校5階大ホールにおいて関西医療学園専門学校校友会東洋医療部会と関西医療大学校友会鍼灸部会の合同学術研修会を開催しました。



今回は関西鍼灸短期大学3期卒業で岐阜県で大学堂鍼灸院院長で上海中医薬大学附属日本校客員講師の岡西裕幸先生に「陰陽てい鍼®による立体的鍼灸治療～入門編～」と題し、20年以上にわたり岡西先生がこだわり続けた、「治療」ではなく、「治療する前」に何を考え、何をした方がより効果的であるかというお話でした。残念ながら資料は本内容に関して「講座」を開設しているために配布できずにスライドのみとなりましたが実際に目で見てすぐ理解できる内容でした。後半は、かなりたくさん症例を見れるようにと参加者の中から被検者を募り施術を実際に行ってくれました。途中被験者に岡西先生の関西鍼灸短期大学時代の同級生になるというハプニング(?)もありましたが、予定していた時間よりもたくさん施術を見せていただくことが出来ました。

